

- 利用による学習の実践
(県中) 小野町アルプス婦人学級
- (分科会) 放送利用による若妻の生活設計学習
(いわき) いわき市大野若妻婦人学級
- (全体会) 効果的な家庭視聴のすすめ方と実態調査活動
(会津) 喜多方市しゃくなげ婦人学級
- (全体会) テレビ利用による幼児教育の展開
(南会津) 田島町生活婦人学級
- (全体会) テレビを利用した市街地における若妻の市民生活学習
(県南) 白河市田町若妻学級
- (全体会) 放送を地域に生かすためのアンケート調査と学習の評価
(相双) 双葉町山田婦人学級

- ウ 他県婦人学級視察報告
- エ レクリエーション・歌唱・ゲーム
- オ まとめ、展示

9. 婦人教育指導者研修会

(1) 趣旨

県内婦人教育活動の各分野にわたり、自発的な学習を促進援助するための、中心的役割をはたす民間の有志指導者の養成と確保をはかる。

(2) 期日

- ① 前期 昭和48年7月3日(火)～7月6日(金) 3泊4日
- ② 中間 昭和48年9月20日(木)
- ③ 後期 昭和48年11月13日(火)～11月15日(木) 2泊3日
- ④ 事後 昭和49年1月24日(木)

(3) 会場

- ① ③-----猪苗代町五輪原 国立磐梯青年の家
- ② ④-----各教育事務所管内ごと県下7会場

(4) 参加者 122名

- ① 市町村における社会教育指導員、婦人教育指導員たりうる者
- ② 地域における婦人教育活動のリーダー
- ③ 婦人学級、婦人団体、社会教育施設、職場等における婦人教育指導者
- ④ 上記各部門における後継者として、今後の活躍が期待され、地域からも信頼のある45才未満のもの
上記①～④のいずれかに該当する年齢満55才未満(原則として)の婦人で、婦人有志指導者としての資質を有し、市町村教育委員会が推薦するもの。

(5) 内容・時間

- ① 基本研修-----30時間
 - 変はうする社会と婦人教育問題に関すること
 - 婦人教育の内容、形態、方法に関すること
 - ボランティア活動の意義と役割、実践に関すること
 - リーダーの資質、技術の向上に関すること
 - 体育・レクリエーションに関すること
- ② 専門研修-----20時間
 - A コース-----婦人学級リーダー育成コース
 - B コース-----婦人団体リーダー育成コース

C コース-----ボランティアリーダー育成コース

D コース-----中堅リーダー育成コース

研修方法

- ア 講義○ボランティア活動の意義と役割
 - ボランティア活動の実践とグループの育成
 - 婦人団体におけるボランティア活動
 - 諸外国における婦人のボランティア活動
 - 婦人教育指導者の資質
- イ 研究協議
 - ボランティア活動実践の現状と反省
 - ボランティア活動に関する学習要求の傾向とその考察
 - 地域におけるボランティア活動展開の現状と問題点
 - 指導者の資質を高めるための自己研修のありかた
- ウ 実技研修
 - キャンドルのつどい
 - フォークダンスの指導方法

エ コース別研修

オ 全体協議

協議題「研修の反省と今後の活動展開を考える」

カ レクリエーション 交歓会

キ ホームワーク

○ 必須課題(その1)

婦人ボランティア活動をすすめるために、婦人学級(団体)における学習計画(実践活動)の中に、これをどうもりこんだらよいか(どうもりこみ、ボランティア精神を高めたか)

○ 婦人ボランティア活動に関する学習要求調査をすすめる——地域婦人との面接による——

(イ)自由課題 その2 地域グループ研修テーマ

○ いきいきした地域の婦人教育活動をもりあげるために、地域別にグループをつくり、研究テーマをたて、具体的な調査・研究・実践をすすめる。

ク 地域別研修(管内ブロックごと)

10. 婦人学級の状況

年度	計	県委託補助	市町村教委	公民館	婦人団体	教委団体共催	婦人有志開設	その他
48	643	7	104	417	41	35	35	4

11. 文部省委嘱県研究婦人学級

(1) 目的

婦人教育の学習機会の拡大と、学習内容、方法の充実を期するため、婦人学級の開設、運営について研究を委嘱した。

(2) 学級名

- ① 文部省委嘱事業—婦人奉仕活動促進方策研究
予算 1186,000円(全国5市)
会津若松市婦人ボランティア講座
- ② 県研究婦人学級(県費2万円)